

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 8年 6月 25日

八戸市長 殿



提出者

住 所 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

氏 名 エプソンアトミックス株式会社

代表取締役社長 大塚 勇

電話番号 0178-73-2801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 7 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	エプソンアトミックス株式会社 本社
事業場の所在地	青森県八戸市大字河原木字海岸4-44
事業の種類	その他のガラス・同製品製造業[2119] 他に分類されない非鉄金属製造業[2399] 粉末や金製品製造業[2453]
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

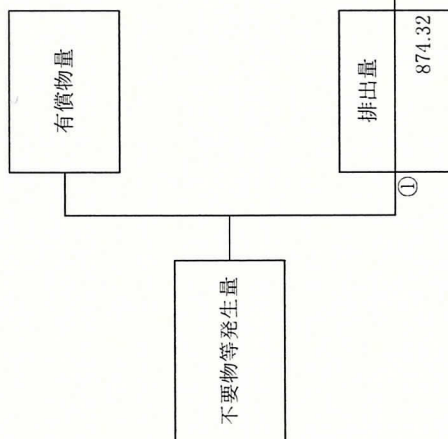
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	840.94 t	全 処 理 委 託 量	840.94 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	192.91 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	284.36 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：全種

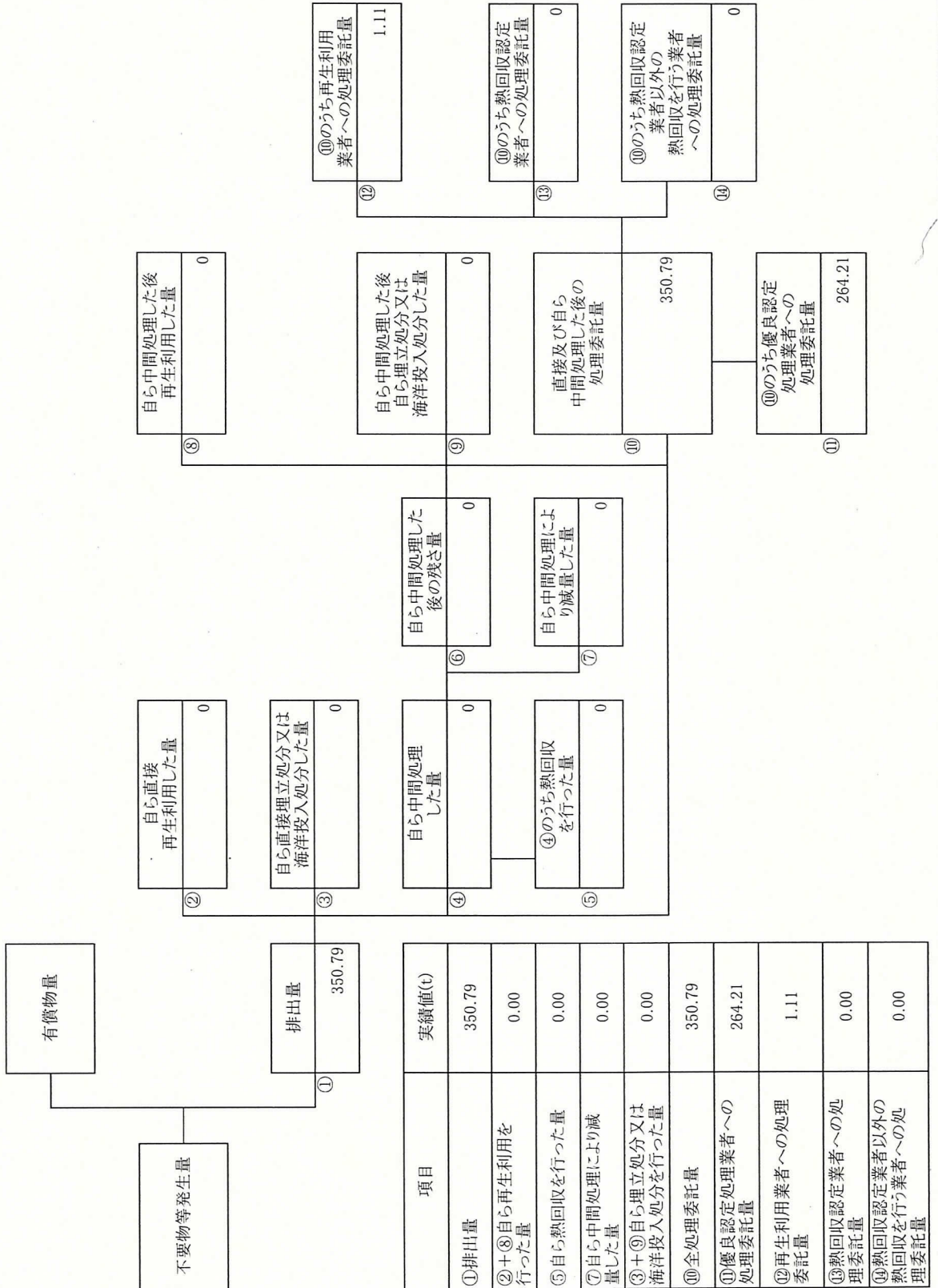


項目	実績値(t)
①排出量	874.32
②+③自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	874.32
①優良認定処理業者への 処理委託量	314.02
⑫再生利用業者への処理 委託量	258.32
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行った業者への処 理委託量	0.00

⑧	自ら中間処理した後 再生利用した量	0	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	258.32
⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0	⑩のうち熟回収認定 業者への処理委託量	0
⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	874.32	⑩のうち熟回収認定 業者以外の 熟回収を行う業者 への処理委託量	0
⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	314.02		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

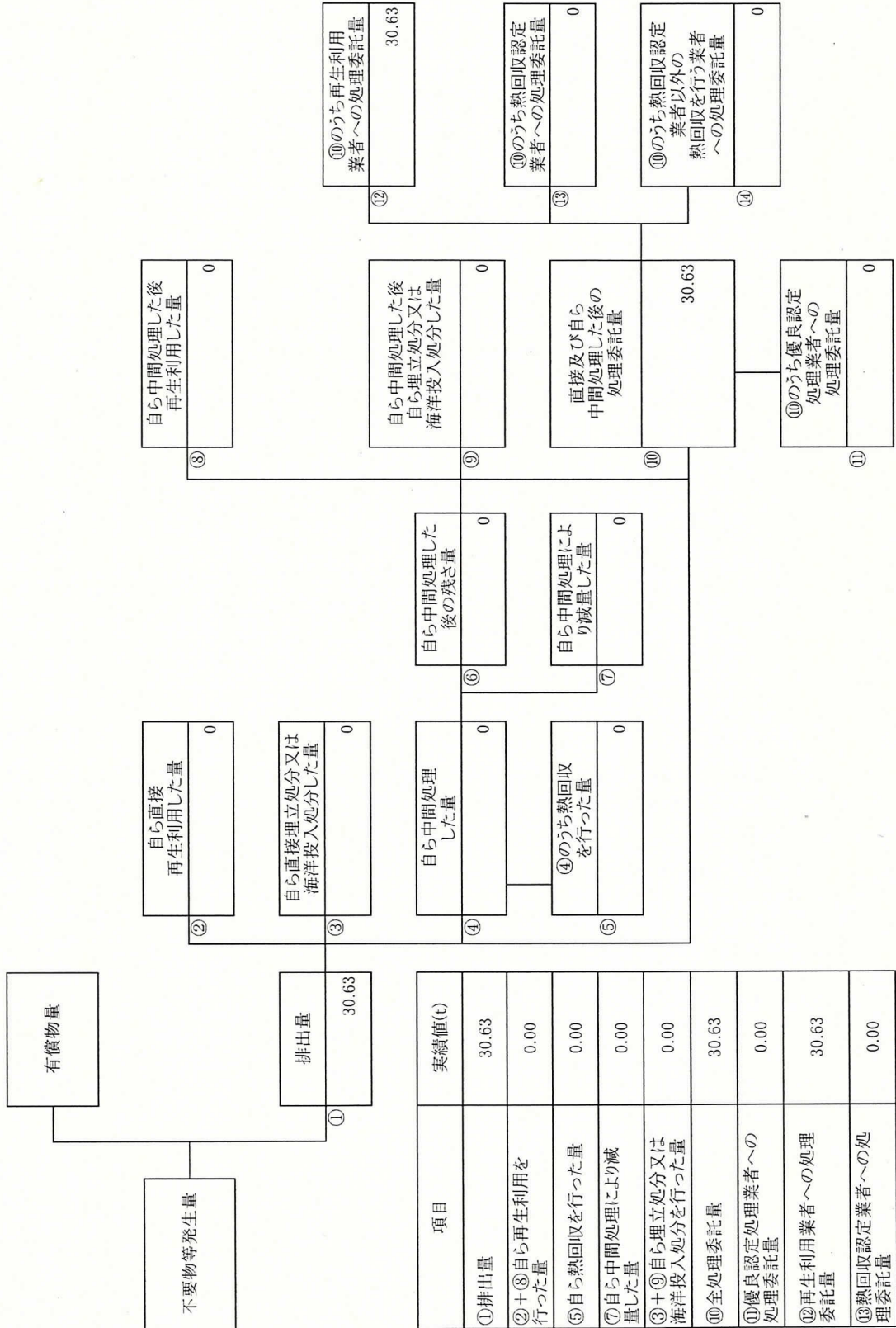
排出量
214.60②
自ら直接
再生利用した量
0③
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
0

項目	実績値(t)
①排出量	214.60
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	214.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.34
⑫再生利用業者への処理委託量	207.26
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

⑧
自ら中間処理した後
再生利用した量
0⑨
自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
0⑥
自ら中間処理した
後の残さ量
0⑦
自ら中間処理によ
り減量した量
0④
自ら中間処理
した量
0⑤
④のうち熱回収
を行った量
0⑩
直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
214.60⑪
⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
7.34⑫
⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
207.26⑬
⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0⑭
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



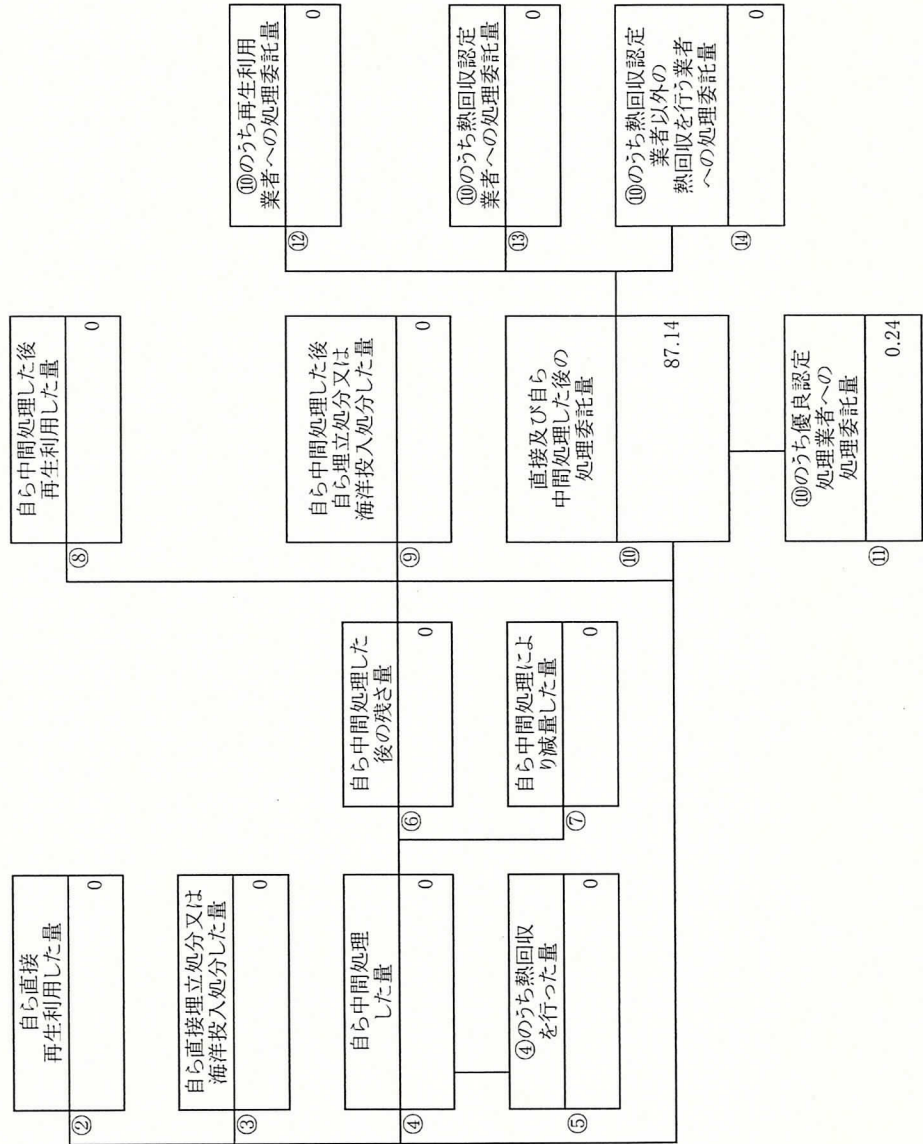
項目	実績値(t)
①排出量	30.63
②+③自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	30.63
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	30.63
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

計画の実施状況

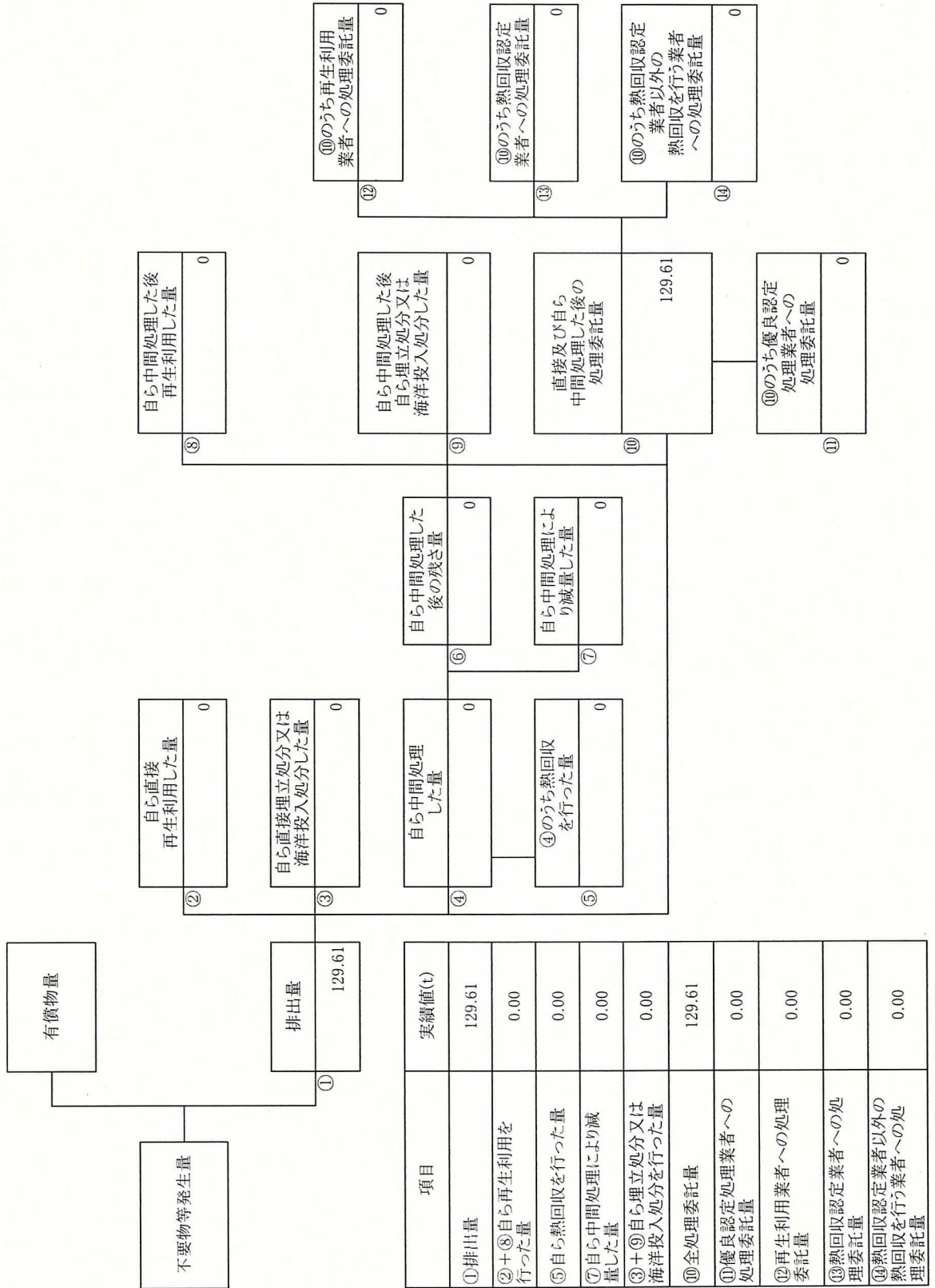
有償物量	不要物等発生量	排出量	87.14
		①	

項目	実績値(t)
①排出量	87.14
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	87.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.24
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鉱さい)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用した量自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

項目	実績値(t)
①排出量	2.40
②+③自ら再生利用を行なった量	0.00
⑤自ら熱回収を行なった量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0.00
⑩全処理委託量	2.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	2.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

⑧
自ら中間処理した後
再生利用した量
0

⑨
自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
0

⑩
直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
2.40

⑪
⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
0

⑫
⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
2.40

⑬
⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0

⑭
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
0

⑥
自ら中間処理した
後の残さ量
0

⑦
自ら中間処理によ
り減量した量
0

④
自ら中間処理
した量
0

⑤
④のうち熱回収
を行なった量
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

有償物量

不要物等発生量

②	自ら直接 再生利用した量	0
---	-----------------	---

⑧	自ら中間処理した後 再生利用した量	0
---	----------------------	---

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
---	-------------------------	---

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
---	------------------------------------	---

①	排出量	42.23
---	-----	-------

項目	実績値(t)
①排出量	42.23
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0.00
⑤自ら熱回収を行なった量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0.00
⑩全処理委託量	42.23
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.23
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

④	自ら中間処理した量	0
---	-----------	---

⑥	自ら中間処理した後の残さ量	0
---	---------------	---

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
---	-------------------	---

⑤	④のうち熱回収を行なった量	0
---	---------------	---

⑦	自ら中間処理により減量した量	0
---	----------------	---

⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
---	--------------------	---

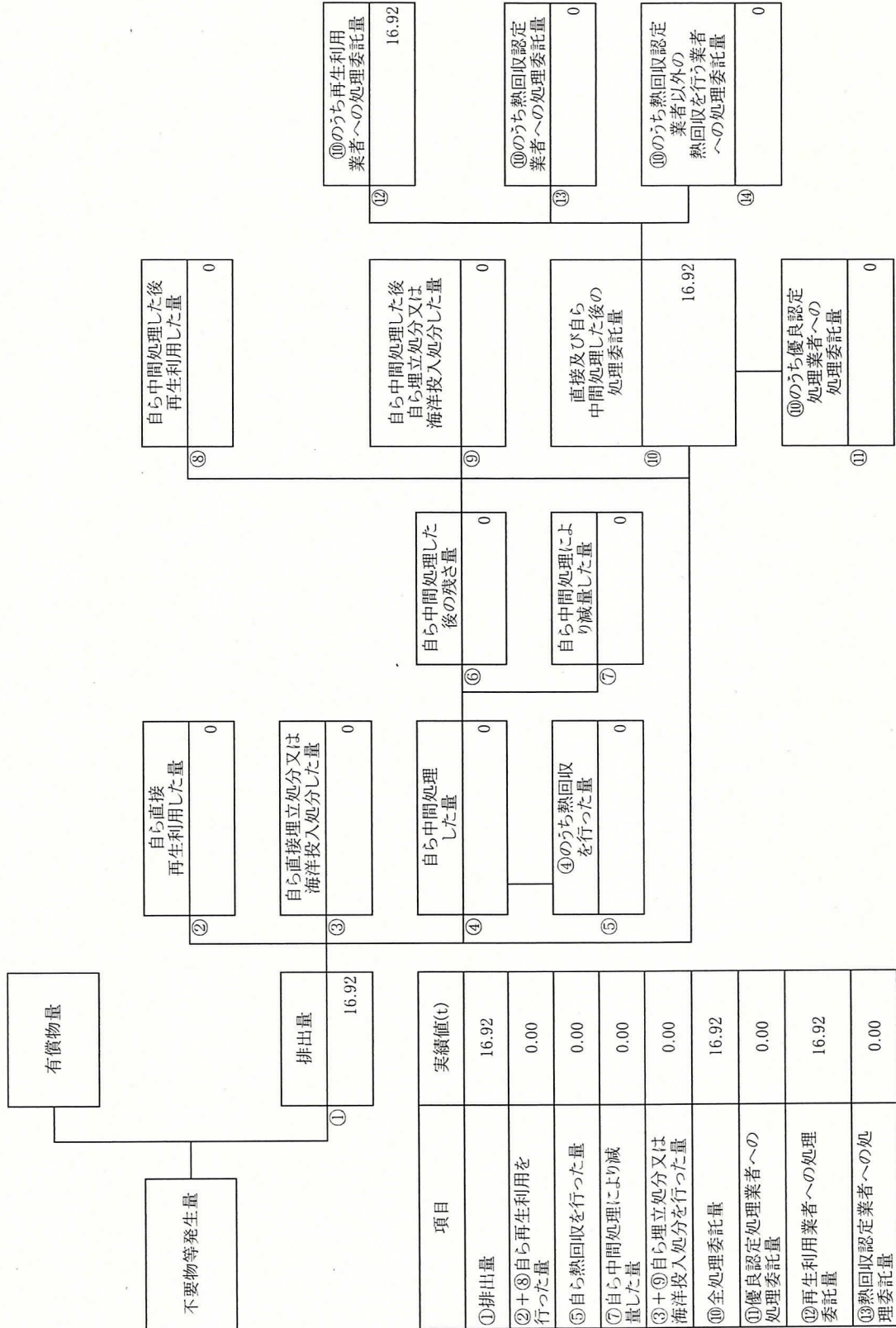
⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
---	-------------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	42.23
---	---------------------	-------

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	42.23
---	---------------------	-------

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)



(第 3 面)

備考

- 1 翌年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第 2 面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理した後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第 2 面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が 2 以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第 2 面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。